RaspberryPiを用いた音声認識

電子情報科 荒岡 瑞葵 泉 紘史 越井 爽月 梅田 達也 操川 翼 黒川 彩乃

背 景

・少子高齢化社会が進む中で、音声認識を使って普段の生活を楽にすることはできないか、また、それが体の不自由な人達のバリアフリーにもつながると考えた。

目的

•音声認識を使ってラジコンを操作することで、玩具やロボットなど様々な分野に応用を利かす。

方法

- ・音声認識ソフトの言語モデルに 操作用の言語を追加
- ・プログラムをRaspberry Piに書き込む
- •動作検証、修正

例.前進の場合

全速前進da!



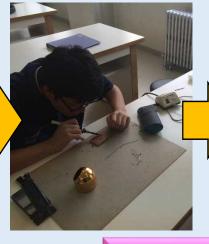
言語モデルの「<mark>前進</mark>」と いう部分に反応

音声認識の仕組み



作業中の様子







結 果

・音声認識の結果を外部に出力することが出来た。ラジコンを操縦するところまでは行かなかったが、理論上はモータを制御できる。

考察

・今回の課題研究で、音声認識の仕組みや、その応用技術についても学べた。新型コンピュータの設定に戸惑うなど不十分な点も多かった。